

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月26日		記入者		連絡先 2733
部 名	経済部	課 名	農林課	課長名	宮崎 孝司
事務事業名	農業後継者・担い手確保対策事業				
予算上の事務事業名	農業後継者・担い手確保対策事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31510	
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第5節 都市農業の振興				事業開始年度
施策名	第1施策 安定した農業経営の確立				平成7年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
<p>農家の高齢化による労働力不足を補うため、一般市民から援農希望者を募集し「農業研修講座」を開催し、専門技師による講義及び実技研修を行い、農家の農作業を援助する援農者として基礎的農業技術を習得する事と新規就農の推進を目的とする。</p>				一般市民	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
<p>・援農システム整備事業</p> <p>(1) ビギナーコース (H17.4月～12月) 野菜栽培の基礎的な知識の習得 (講義) と、土作りから播種・管理・収穫までの体験実習を行い、農業の基礎的技術を習得。今年度は里芋・甘藷・そばを栽培。</p> <p>(2) サポートコース (H17.4月～H18.3月) ビギナーコース修了者で、さらなる農業技術の向上を望む者へ、播種から収穫・販売までの実習を行った。本年度はトウモロコシ・キャベツ・ブロッコリーを栽培。</p> <p>(3) サポートⅡコース (H17.4月～H18.3月) サポートコース修了生の中で、さらに高い意欲を持つ者のために、グループ別に農家から全面作業受託した圃場で年間を通して露地野菜等の栽培から出荷まで実施。</p> <p>・新規就農者アドバイザー派遣・新規就農者研修奨励金・新規就農者農作業オペレータ支援事業 新規就農者の研修や受入れ態勢の環境整備を実施。</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他市においては、援農ボランティアの育成が中心であり、就農を視野に入れていない。本事業と類似しているものは、東京都日野市の援農市民養成講座「農の学校」等がある。					
7 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	1,284	1,255	1,272	1,509	1,509
一般財源	1,284	1,255	1,272	1,509	1,509
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	984	992	985	985	985
事業コスト合計	2,268	2,247	2,257	2,494	2,494
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	農業後継者・担い手確保対策事業 (援農システム整備事業)			対象名称 と単位	受講者数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
対象数	50	64	55	48	50
単位あたり経費(円)	20,000	15,625	18,182	20,833	20,000
前年度比		0.78	1.16	1.15	0.96

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	受講者数	指標式と指標の説明		受講者数/目標値	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	50.0	64.0	55.0		
目標	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
目標達成度（%）	100.0	128.0	110.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	修了者数	指標式と指標の説明		修了者数/目標値 受講者のうち修了者数で対象者の熱意をはかる。	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	43.0	56.0	48.0		
目標	45.0	58.0	50.0	45.0	45.0
目標達成度（%）	95.6	96.6	96.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		検討課題であった、修了生の受け皿として、特定非営利活動法人（NPO）が設立された事により、社会的に認知され、援農活動がより活発となり、市内の農業の活性化やまちづくりの推進等に寄与していくものと思われる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
援農修了生による特定非営利活動法人（NPO）が設立され事により、ピギナーコースからサポートコースに進み修了した者の受け皿ができた訳だが、この流れをより強固なものとするためにも、NPOから独立して就農に踏み込めるような施策をPRする方策が必要である。			比較的、中高年の応募者が中心であり、本人の様々な社会的背景や体力等によって最後まで受講できないケースが散見されるので、対応策や受講者の学習意欲等を向上させる施策等を研究、検討したい。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			